

## 「国語の勉強の仕方」を身に着けよう

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。桜はすっかり散ってしまいましたが、皆さんは元気でお過ごしでしょうか。先週の日曜日4月12日には、統一地方選挙の栃木県議会議員の選挙がありました。当選なさった方には頑張っていたいただきたいと思います。落選なさった方は、捲土重来(けんどじゅうらい)を期して4年間準備をしていただければと思います。栃木県議会の特色は通年議会で、議員の先生方が熱心に1年間ずっと議会を開催してくださっています。そして、いろいろ考えて政策型の条例を目指していくという、日本でも非常に熱心な県議会として有名です。
2. 私は、東京にある経済同友会という経済団体の道州制委員会・地方分権委員会で10年ぐらい地方議会、特に県議会について政策提言をさせていただいております。そこでも栃木県の県議会は高い評価を得ていますので、議員に当選された方はどうか頑張って活動をしていただければ有難いです。
3. さて、「開倫塾の時間」は学習の仕方についてお話しする番組ですので、今日は「国語の勉強の仕方」を少しお話させていただきます。この勉強の仕方は、小学生、中学生、高校生だけでなく、大学生、大学院生、社会一般の方にとっても「どのように本を読むのか」について役に立つかもしれませんので、是非関心を持っていただければと思います。
4. 国語の勉強で大事なことは、何を使って勉強するかです。他の科目も同じですが、1番大事なのは学校の教科書です。それから、学校で使用している問題集やドリルなどの教材です。小学生はあまりありませんが、中学生や高校生になると、教科書の他にいろいろな教材を用いて勉強する場合があります。ですから、学校の教科書が1番大事で、学校で使用している問題集・ドリルなどの教材が2番目に大事です。そして、3番目は、国語辞典や漢字辞典です。昔は漢和辞典といったのですが、今は漢字辞典ということが多いようです。国語辞典や漢字辞典は学年に応じて小学生には小学生用、中学生には中学生用がありますが、中学生以上は普通の国語辞典や漢字辞典を用意したほうがよいと思います。電子辞書でもOKですが、できれば紙の辞書を使うのがよいと思います。また、メモを取るために、国語専用のノートが必要です。それから、何日か分の新聞を必ず手元に置いて、絶えず読む・1冊か2冊の本を用意して絶えず読書をしたほうがよいと思います。このように、学校の教科書・学校で使用している問題集・ドリルなどの教材、国語辞典、漢字辞典、専用のノート、新聞、本などを国語の勉強の材料として揃えたほうがよいと思います。

5. ではどのように勉強するのかといいますと、どんな勉強にも復習が大事です。復習の仕方としては、教科書を1ページ目から今回学習したページまでゆっくりと声を出して読むことが一番です。どのくらい読むのかといいますと、スラスラとよく読めるようになるまで、ゆっくりゆっくり声を出して読むのがよいです。声を出して読むことを音読といいます。この音読練習が大事です。それから、今までに学習した内容の中に読めない語句があったら調べる。例えば、漢字が読めなかったら漢字辞典で調べる。それでもわからないときは先生にお聞きする。これらのことが大事だと思います。また、今まで勉強した内容でも書くのが難しい語句があったら、よく書けるようになるまで、ノートで書き取り練習をしたほうがよいと思います。漢字や難しい語句は書き取り練習をすると身に着きますので、是非書き取り練習をしてください。
6. 次は、新しく学ぶ内容はどのように勉強すればよいかということです。やはり教科書の本文を声を出して読む、それもゆっくり読むことが大事です。復習も声を出して読むことが大事ですが、これから勉強する内容も声を出してゆっくり読むことが大事です。どのレベルまで読むのかというと、スラスラとよく読めるようになるまで音読練習を繰り返し行うことをお勧めします。そして、読めない漢字や語句は漢字辞典で調べてください。それでもわからなかったら、先生に質問することが大事だと思います。音読練習をしていて、意味のわからなかいことばがあったときは、そこに小さい印を付けて、日本語の意味が書いてある国語辞典で調べる。それでもわからなかったら先生に質問するとよいと思います。是非、国語辞典と漢字辞典を使っただけであればと思います。
7. 調べた内容は、すべてノートに書き写すことが大事です。せっかく辞書で調べても、そのまま辞書を閉じてしまうと記憶に残りません。ですから、辞書で調べた意味はできるだけノートに書き写したほうがよいと思います。そして、ノートに書き写した意味や内容を声を出して何回も読んで、その場で覚えてしまうことも大事だと思います。
8. また、国語には新しく出てくる漢字があります。これを新出漢字といいます。その新出漢字とよく書けなそうな漢字や語句は、書き取り練習をしたほうがよいと思います。正確な書き順で書き取り練習をして、教科書の書体で書けるようにしましょう。教科書の書体のことを楷書といいます。できれば最初から崩して書いたりしないで、教科書の書体である楷書で書き順まで確かめながら正確に書いたほうがよいと思います。もし、教科書に漢字や語句の問題が出ているときは、自分の力でノートにやってみることも大事かなと思います。
9. 時間があったら、新聞を1日に1回、一面からなめるように読む。1日に1回ぐらいは本を広げて10分でも20分でも読み、気に入ったところはノートに書き写すことも大事であると思います。国語はすべての科目の基礎ですので、丁寧に丁寧に勉強していただければと思います。今日は、国語の勉強についてお話をさせていただきました。